

《 第47回高高神田会のご案内 》

— 旧暦に思いを馳せながら白みそ餡餅雑煮をいただき、暦の成り立ちを知る会 —

皆様、あけましておめでとうございます。

今年も神田会を始めとした東京玉翠会の同好会活動をよろしく申し上げます。

同好会活動といえはなにかたいそうな感じがいたしますが、まあ好きものの集まりということですので気軽にご参加ください。

さて、恒例の餡餅白みそ雑煮会ですが、回を重ねて14回目になります。

今年は下記の通り2月21日の開催と成った訳ですが、「えらい遅い正月やお。」という突込みがありそうです。2月21日開催はこれまでの14回の歴史の中で最も遅い開催日タイという記録となります。(第3回目の2004年も同じく2月21日開催でした)

本会はだいたい2月初めから中ごろまでに開催しているわけですが、それには深いわけがあります。本来であれば讃岐の雑煮を食って新年を祝おうということなのですが、

- ① 1月は帰省やら会社の新年の行事などがあってさすがの暇人たちもある程度忙しかろう
- ② 正月に雑煮をいやというほど食っているの、連ちゃんはずときつかり

という気遣いにより、**本会は旧正月(中国でいうところの春節)あたりに開催するという暗黙の了解がございます。**世間では暇といわれる2月あたりに「旧正月」という理屈をつけて新年会をするというなんとも都合の良いといおうか風流なこじつけであります。

そういうことで今年も旧暦1月3日にあたる2月21日に開催することに相成りました。

さっそく、下記のとおりご案内をいたします。

開催日時 : 平成27年2月21日(土) 旧暦1月3日

12:30から 16:00終了

※ 「かおりひめ」さんにはランチタイムをパスしてもらいますので12:30スタート

※ そのかわりディナータイムまでパスして頂くわけにも参りませんので終了は16:00厳守

場所 : せとうち旬彩館「かおりひめ」

港区新橋2-19-10マリビル2階 (JR 新橋銀座口すぐ)

Tel 03-5537-2684

会費 : 一応6,000円の予定

今年も会場は昨年、一昨年に引き続いてS53卒香川県職員の溝渕さんをお願いしました。もはや県の東京事務所にとっても恒例行事として定着しつつあるかのごとく、快く「かおりひめ」さんにお引き受けいただきました。

また、今話題の希少糖発祥の地、三木町から食材をいただけるのはこの上ない幸運といわんばかりに、今回もまたH3卒佐治珠実さんの三木町のご実家にお餅とお野菜をご提供いただきます。

今年も佐治さんの代が総会幹事学年です。14年間ご実家にお世話になっている感謝の意をこめて、

新年会から盛り上げて総会幹事を応援したいと思います。

佐治さんのご両親にはいつもながら本当にお世話になっております。あらためてお礼申し上げますとともにお二人がいつまでもご健康でいらっしやることをお祈り申し上げます。

.....

これより下は数寄者・風流人の方のみお読みください。

今回は、これまでの中で最も開催が遅いタイ記録と申し上げましたが、2004年(第3回)も2月21日でした。2004年の第3回は旧暦に直すと2月2日。どういうわけで旧暦2月に開催となったか記憶が定かではありません。どなたか覚えておられれば教えていただきたいものです。

2004年の第3回はそういうことで例外として、旧暦正月松の内に開催されたことが過去6回ありました。

第1回	2002年2月16日	旧暦では1月5日
第6回	2007年2月18日	〃 1月1日 (唯一旧暦元日の開催でした)
第7回	2008年2月 9日	〃 1月3日
第8回	2009年1月31日	〃 1月6日 (唯一新暦で1月中の開催、最も早い開催)
第12回	2013年2月16日	〃 1月7日
第13回	2014年2月 1日	〃 1月2日
今回	2015年2月21日	〃 1月3日 (最も遅い開催日)

旧暦松の内の7日間だというのに、新暦になると20日以上も差が出てきています。これが今回の開催日の遅い訳なのです。

どうしてか？ それは旧暦でいうところの「**閏月**」にあります。

新暦は「太陽暦」、一日と一年が太陽の周期により決まり、地球が太陽を一周する365.242日(平均太陽年)に近い365日を1年とし、その補正として2月29日という閏日を400年に97回挿入します。

※(マニアックですが、4年に1回ではないことに注意、この閏日の年を閏年としています。閏年は西暦年が4で割り切れる年で次の閏年は2016年。閏年は概ね夏季オリンピック開催年です。さらにマニアックですが、2100年は閏年にはなりません。これは400年に3回の補正年となります。もし、2100年までご存命であれば、この100年もしくは200年に1回の大変に貴重な年を存分に堪能していただきたいものです。)

旧暦は「太陰太陽暦」

- ・いち日は太陽の周期で、ひと月は月の周期で決め、一年は一応12か月とする。
- ・ひと月は朔(新月)から次の朔までとする。
- ・月の平均周期は29.53日なのでひと月を29日(小の月)か30日(大の月)で区切る。
- ・29.53日/月×12月/年≒354日/年となり、一年が約11日短くなる。
- ・そうすると季節感にズレが出てくる(15年もたつと165日のズレとなり、8月に雪が降り2月にセミが鳴くという不都合が生じる)ため、約3年に一回閏月を挿入し補正する。
- ・つまり約3年に1回、例えば8月の次がまた8月(閏8月)となる。

ここまでもうお分かりかと思いますが、**去年は旧暦によると閏月があった年だったのです。**(ちなみに開催日の遅い2007年・2013年も前年に閏月がございました。)

2014年の10月24日～11月21日までの29日間は旧暦では平成26年閏9月となっております。
つまり平成26年は旧暦では13か月384日ほどの長い年であったということになります。年俸制であれば随分損をしたような感じですね。実際江戸時代の藩士は年俸制だったと思いますので閏月の年は(とりわけ下級藩士にとっては)極めて厳しい家計となったものと推察されます。

赤穂浪士の討ち入りは元禄15年12月14日ですが、この年も閏8月があつて新暦に直すと翌年の1月30日。討ち入りの前日に雪が降って、泉岳寺までの「義士引き揚げの図」が残っていますが確かに雪道を凱旋しています。新暦の12月13日に東京に大雪というのは少しピンときませんが、1月29日であれば納得できます。

また、12月14日は十四夜、ほぼ満月であり、討ち入り当日は快晴と伝えられていますので、月明かりと雪明りの中、四十七士にとっては幸いにも夜目が利く好い夜であったことでしょう。上野介(とその家臣)にとっては間の悪い日であった訳ですね。

現在の新暦(グレゴリオ暦)でも月(MONTH)は月であり、日(DAY)は日(太陽)を使っています。太陰太陽暦の名残なんでしょうね。「朔(月齢ゼロ)」を無月といわずに新月というのも名残ですね。

このあたりのことにさらに興味がおありであれば WIKI でも、もしくは小生がよく調べる「暦のページ」 <http://www.koyomi8.com/> も便利ですのご覧いただければと思います。

さて、来年2016年の旧暦の1月1日は新暦では2月8日(月)です。

そういうことで**来年の本会は、**

- ① **2月11日(祝・木 = 旧暦では1月4日)、**
もしくは
- ② **2月13日(土 = 旧暦では1月6日)あたりが候補日です。**

気の早い話ですが皆さんそのあたりを予定しておいてくださいませ。

長うんちくで 来年の案内までしておりますが 鬼が笑いそうな来年はともかく
今年の新年会は上記1頁記載の

平成27年2月21日(土) 正午過ぎの12時半
でありますので

皆さま ご家族(家族候補者を含む)・友人(館ころ餅雑煮未体験者歓迎)などをお誘い合せの上、
賑やかに讃岐弁の飛び交う 新年会に ぜひご参加戴き 新年を一緒に言祝ぎましょう。

それではいつものとおり、次頁の返信用紙にてお申し込みください。

……………高高神田会館ころ餅雑煮新年会 出欠の返信用紙……………

fax 送信 03-5296-7678 岡崎宛

開催日時 : 平成27年2月21日(土)
 12:30から 16:00終了
場所 : せとうち旬彩館「かおりひめ」

館ころ餅雑煮新年会に
参加 欠席 (いずれかを選択してください)
します。

参加人数:
(ご同伴者がいらっしゃいましたら参加人数をご記入お願いします)

卒業年度:
ご芳名:

連絡事項: